

ふもと研究会

眉山のふもとで
毎日のくらしと
名もないドラマが
歴史を作る

私たちはこれからの未来に
どんなドラマを残すのだろうか

私たちは今、
歴史から続いた一筋の道の上
あしたという未来のふもと



1



2



3

研究員のふもと巡り①

2月20日(土)「とくしま観光ガイドボランティア会」の方による、寺町散策コースを体験しました。ガイドを担当して下さったのは築地さんという方で、気さくに、そして丁寧に案内して下さいました。このとくしま観光ガイドボランティア会の方による無料ボランティアガイドは寺町散策コースの他に、大名・蜂須賀小六探求コース、眉山・阿波踊り体験コース、新町川まるごと体験コース、わたしの「ちょっといい旅」コースの5種類あって土・日・祝に行われています。(※3日前までに申し込みをしておきます。)

阿波踊り会館の前で待ち合わせをして、いざ出発。約400年前の門扉や屋根を残す寺町の特徴ある寺院や、名水錦竜水(写真1)、写楽じゃないか?と
言い伝えられているお墓(写真3)や焼餅屋さんを巡った後は再び阿波踊り会館前を通過して伊賀町へ。その昔、伊賀忍者が住んでいたと聞いてびっくり! 静かな町の通りに時間が止まったような三味線やさんがたたずんでいたのがとても印象的でした。今回は時間の都合で急ぎ足の散策になってしまったので、次回もう一度ゆっくり寺町コースを体験しようと思っています。



写真2の美しい梅の木から
ゆらりと現れた三毛猫さん

研究員のふもと巡り②

先日、「モラエス饅頭」なるものを発見!! 新町側の公園の近くで、店も看板もいい感じに時代があって、ショーケースもそれはそれは懐かしさいっぱい。お隣に建っていた「勝浦旅館」も興味あり! この2つの建物のおかげで少しだけタイムスリップ。次は必ずモラエス饅頭のお味を確かめるべし!

記事・情報募集! みなさんからの、眉山に関する記事や情報をお待ちしております! 眉山にまつわる昔話、お勧めの登山道、季節折々の自然など、みなさんが口ごろ感じていることなども添えてお寄せ下さい。Webやふもと通信などご紹介させていただきます。また、「ふもとなかま」も合わせて募集しています。情報収集や、イベントなどに一緒に参加して下さる方「ふもとなかま」に入りませんか?





情報の巣箱より

わたしと麓ふもと

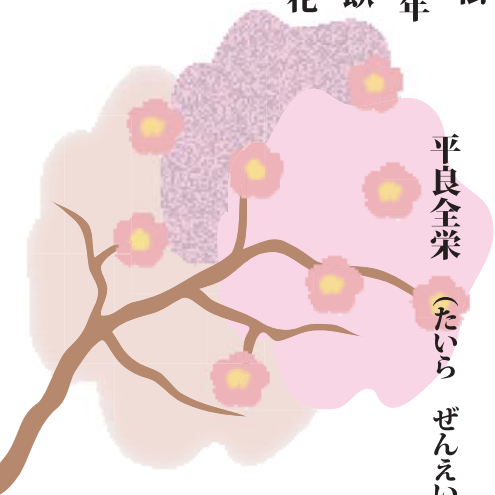
vol. 02

眉山のやま

眉山のやまは、私にも、そして多分市民や県民にも多くの思い出をつくってくれたやまである。前回、息子との小さい思い出を書いたが、友達や仲間たちとの思い出も眉山ある。学生たちとの思い出もある。昭和50年代中頃、徳島大学で教養部の名物教授のもとで化学の非常勤講師を務めさせてもらっていた。そんなある日、ある先生の教室の、西部公園での花見の宴に参加させてもらった。私は30代前半で、学生たちとの年齢も近く、別け隔てなく、酒を飲み、食し、楽しんだことが、桜の花と共に思い出される。

西部公園の桜は、八重が多く、蓓郁とした贅沢さがあり、あの枝、この枝の花が見事であった。当時、眉山は桜の名所としてもよく知られ4月ともなれば、花見の宴が賑やかであった。その後、花見は中央公園でのことが多く、眉山の花見の記憶がない。今でも、桜の頃の賑わいがあるのか知らない。今年は眉山の桜を楽しんでみたいものである。

平良全栄 (たいら ぜんえい)



学生支援室だより No.2

学生支援室に入ると目にはるのが42インチのテレビ。

このテレビではスカイプ（インターネットで結ぶテレビ電話）を通じた交流がおこなわれています。どこと？というと、なんとモンゴルの大学と結んでいるのです。現在は月曜日15時からと金曜日16時30分からの週2回行っています。通信状態が安定せず上手くいかない時もありますが、テレビの向こうはただの映像ではなく、現実の世界。国際交流というと、海外に出かけていくとか、直接会って何かをするというイメージがあるかもしれませんが、でもここで行っていることも国際交流。直接話をする事で、互いの違いや似ているところ、知りたい事や伝えたいメッセージが湧いてくるのです。

この取り組みには、社会人の方にも役割をお願いしています。もちろん、日本語で話していただいています。伝えたい、知りたい、そんな気持ちがあれば国や地域、言葉を越えた交流の第一歩につながっていくことをみなさん感じていらっしゃるのでは・・・と思います。

このスカイプ交流、これからも様々な国や地域と結んでいきたいと思っています。ぜひみなさまも「テレビの向こうとつながる交流」にいらっやいませんか？



学生支援室 Tel:088-656-7205

HP :<http://w3.ias.tokushima-u.ac.jp/sgp>